

京都税理士協同組合ニュース

# 京税協

平成21年11月25日  
第127号



愛の泉（ベルギー） 広報委員 板倉義守

発行所

京都税理士協同組合

発行人 平澤政治  
編集人 河村澄子

〒604-0943  
京都市中京区麩屋町通御池上ル  
上白山町258-2  
T E L (075) 222-2311  
E-mail kyozei@kyozei.or.jp

最新情報はこちら  
<http://www.kyozei.or.jp>

# 懇談会開催



数日前の冷え込みで木々の葉も色づき始めた11月9日、今年は少し遅めとなったが、京税協・大同生命共催の両丹協議会と総務部門地区連絡委員会主催の両丹支所組合員との懇談会が開催された。会場は天橋立を眼下に臨む「ホテル北野屋」(宮津市)。総勢69人の出席により両丹協議会の開会となった。

安井常務理事(保険第一委員長)の司会により始まった両丹協議会は、平澤理事長、岡本大同生命京都支社長のあいさつに続き木村大同生命京都税理士共済支社長から現在の推進状況の報告、小坂副理事長から大同生命集团扱いの団体である厚生会の役割等について説明が行われた。



次にDVDによる保険指導の実践の研修がおこなわれた。この低迷の時期にこそ、関与先への保険指導が大切であった。またそれが出来るのは、普段から関与している我々税理士であるということを改めて認識をした研修であった。

各支所ごとの保険指導目標、取り組みについての発表の後、安井常務理事のあいさつで終了した。

休憩の後、田中専務理事の司会により両丹支所組合員との懇談会が開始した。平澤理事長のあいさつの後、総務、保険、事業、地区連絡の各部門の担当の副理事長、常務理事より活動について報告が行われた。

その後に質疑応答が行われ主な質問、要望は

- ・今進んでいる研修会のネット配信(遠方でも同じ研修が同時に受講できることは良いことである)であるが費用負担の説明がなかったが費用はかかるのか?
- ・文化事業(4月開催)について遠方からの参加者について何かの配慮があるのか?
- ・今後とも協賛金の支出(両丹ゴルフコンペ)をお願いしたい。

などの意見が出された。各担当副理事長等が適宜回答した。

やはり、地理的問題が大きいようで市内の組合員とのサービス格差をいかに無くしていくかが今後も検討課題にな

りそうだ。組合員みなさまの熱心な質疑応答のなか終了時間を迎え懇談会は閉会となった。

その後会場をハーモニーホールに移し、太田専務理事の司会により片野副理事長のあいさつ、川瀬宮津支所長の乾杯で懇親会の開宴となった。5支所合同で集まって何かをすることはなかなかなく、この協議会が良い機会となっているようであった。

和やかな宴は、辰巳副理事長の万歳三唱で閉宴となった。  
(広報委員長 河村澄子)



## 新春講演会 新年祝賀会

日時 平成22年1月13日(水)

講演会 15時30分～

祝賀会 17時30分～

場所 京都ホテルオークラ

(主催) 近畿税理士会京都府支部連合会

(協賛) 京都税理士協同組合



# 大同生命代理店協議会

—10月22日—

平成21年10月22日(金)京税協・大同生命共催の「代理店研修会&BIG対談&チャリティーオークション」が京都ホテルオークラ4階「暁雲の間」において開催されました。

## 第1部 代理店研修会

まず午後4時から第1部の代理店研修会が田中英文専務理事の司会により開会されました。

平澤政治理事長、大同生命の永田紀税理士推進本部長の挨拶のあと、大同生命の木村恭介京都税理士共済支社長から大同生命実績報告、小坂文夫副理事長から組合事業についての説明、また保険指導の研修DVD放映と続きました。



名古屋税理士会 岡部豊氏

そして本日の研修会のメインである「基調講演」が名古屋税理士会の岡部豊氏により、「税理士事務所の力をフルに引き出す保険指導術」と題し、ご自身の数多くの経験を元にした保険の指導方法のノウハウについて、懇切丁寧な説明がありました。

## 第2部 BIG対談

その後、午後5時30分から第2部のBIG対談が、引き続き田中英文専務理事の司会により行われました。

本日ゲストの、白鷗大学教授の福岡政行氏と読売新聞報道局解説副委員長の辛坊治郎氏というBIGな二人に、更に飛び入りの日本銀行京都支店長の金田一弘雄氏を加え、正に“BIG3”により「どうなる日本、どうする日本～政治・経済の観点から～」をテーマに“熱い”対談が行われました。



読売新聞報道局解説副委員長 辛坊治郎氏



白鷗大学教授 福岡政行氏

## 第3部 チャリティーオークション&懇親会

午後7時からは安井伸夫保険第一委員長の司会でチャリティーオークション&懇親会が、片野晏弘副理事長の挨拶に引き続き大同生命の岡本正人京都支社長の乾杯により開会されました。

懇親会の途中からは、福岡政行氏と辛坊治郎氏の二人の司会により、チャリティーオークションが始まりました。

商品は、元巨人軍の中畑清選手のサイン入りバット、吉永小百合さんのDVDとサイン入りの本等十数点で、これらは全てお二人からの提供品であり、これらの売上金のみならずBIG対談の講演料も日本レスキュー協会やアシストの会への寄付金になるとの事です。

当初福岡政行氏から本日の売上目標は10万円との宣言がありましたが、最後にはお二人がご自分の着けているネクタイをも提供され約16万円の売上となり、午後8時30分盛会のなか辰巳修偉副理事長の閉会の挨拶によりお開きとなりました。

(広報委員 板倉義守)



京都税理士協同組合厚生会会員のみなさまへ

### 総合事業保障プラン総合型・L

大同生命の無配当歳満期定期保険 AIUのグループ傷害保険

90歳までの長期保障、保険料は一定。

退職金、功労金などの財源としてご利用いただけます。

\*このプランには、契約者が京都税理士協同組合所属税理士の関与先であるなど、所定の加入資格を満たした方のみご加入いただけます。ご加入後に加入資格を喪失された場合、保険料の引き上げや保障内容の変更(損害保険部分の解約)等の取扱となることがあります。加入資格の詳細につきましては、担当者にご確認ください。

◎この広告には、保険商品のすべてが記載されているものではありません。ご検討・ご契約にあたっては、「設計書(契約概要)」「重要事項のお知らせ(注意喚起情報)」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。また、ご不明の点などございましたら、引受保険会社または取扱者にお問い合わせください。

〈引受保険会社〉 **DAIDO 大同生命** **AIU 保険会社** <http://www.aiu.co.jp/>

京都税理士共済支社・京都支社 / 京都支店(京都市中京区烏丸通三条下ル總頭屋町595 (大同生命京都ビル7F) TEL. 075-223-1651  
TEL. 075-256-7102

F-21-1001(平成21年4月27日)A-000045 2010-06

# 私のいる風景

## —歴史の宝庫、深草—

伏見支所 石田 一郎



第16師団の名残りの標識

事務所の前の師団街道からすぐ北の東西の通り第一軍道に沿って京阪電車、疏水を跨ぎ直違橋通りへ。少し北へ歩き、東に上り詰めると石峰寺の石段が目に入ります。竜宮城をイメージした丹塗りの総門、円くずしの勾欄が特徴の本堂、どこか中国の雰囲気が漂います。江戸時代中期に黄檗山萬福寺の第六世、千呆和



石峰寺 総門

尚によって創建された禅宗寺院です。

本堂脇から山手に入り、すぐ右には鶏の絵で有名な伊藤若冲の墓所。ここは、京都市内有数のサンセットのビューポイントです。

元に戻り、総門と同様式の門を潜ると昼間でも薄暗い竹林の中に羅漢の石仏群が視野に飛び込んできます。若冲の監修の下、10年余の歳月を費やし、釈迦の生誕から涅槃に至るまでをテーマに制作したものです。寺を後に、少し下ると「茶碗子の水」の碑があります。昔、茶人が弟子に天下の三名水の一つである「宇治橋の三の間から汲む水」を用意するよう命じたところ、弟子はこの付近で折角宇治から運んできた水をこぼします。仕方なくここで茶碗に水を汲み持ち帰ると茶人は水の味を見抜き、叱るどころか宇治川の水よ

りも良いと誉められ、この地の水を、「茶碗子の名水」として茶の湯に用いられたということです。

更に歯痛止めの「ぬりこべ地蔵」を左に見て伏見稲荷大社の千本鳥居の南にたどり着きます。普段は何気なく歩く道にも千年の間都であり続けた京の歴史というフィルターをかけると違った風景が見えて来るから不思議です。



伏見稲荷 千本鳥居



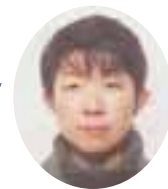
刈り取りの終わった田、奥に見えるのは京阪奈丘陵の一部

37年前、結婚するに当たって、2人の実家の真中位というただその理由だけで、新居を相楽郡の精華町に決めました。何の予備知識も無く住み始めた地でしたが、初めて行った銀行では、ダルマストープの上に湯気の上がる金ダライが載せてあり、金庫は真黒に塗られた年代物…。京都市内で生まれ育った私にとってはちょっとした衝撃でした。日々のお買物は駅前唯一のストアで…。そのお店もお正月は1週間程お休みといったのんびりした生活でしたが、毎日自転車で走る農道から田畑の作物の成長ぶりを観察するのは、新鮮な楽しみで、また京阪奈丘陵（京



## —のどかさ、最先端と—

東山支所 小西 博代



都・大阪・奈良の3府県にまたがる丘陵地帯)に沈む夕陽の美しさ、夜空に瞬く星の多さには心に沁みる感動を覚えたものでした。



京阪奈記念公園から学研の施設を望む

ところが、その京阪奈丘陵に、関西文化学術研究都市が構想され、精華町はその全域が学研都市の区域に指定されたのです。最先端の様々な研究施設

が建設され、京阪奈記念公園、国立国会図書館関西館なども出来ました。そして新しい住宅地もあちこちに出来て、そのどれもが周辺の自然環境と調和して、とても美しい街並みになっています。

昔ながらのホッとするのどかな風景と最先端の美しい街並み、そのどちらも私の好きな、ちょっと自慢の風景です。



木立の間に佇む国際高等研究所



## 高瀬川くりお



右京支所 **大橋康人**

税理士会の一部やごく親しい友人の間では、グルメあるいは単なる食いしん坊と見られている私が今回ご紹介するお店は四条木屋町下の高瀬川沿いにある「高瀬川くりお」です。

私の中学の同級生であるオーナーは一味違う料理を提供してくれます。

素材と産地にこだわり「美味しい料理くつろぎの一時」をコンセプトに町屋を改造した店内、窓から見える高瀬川の風景もいい雰囲気です。料理の味を引き立たせてくれます。

この店は鍋ものがウリでオーナーの新メニューの探究心には頭が下がります。



私のお薦め料理は平田牧場の三元豚のしゃぶしゃぶです。豚の脂がひつこくなく抵抗なく食べられます。メチャウマです。この三元豚は陶板焼きでも食べられます。

鍋ものでは、今はまだメニューにはありませんが、寒ブリのしゃぶしゃぶもお薦めです。去年の冬に食べて唸りました。



そして、私はいつも締めには葱柚子雑炊を食します。

柚子の香りが絶妙で、お腹一杯でもいくらでも食べられます。

デザートには手作りの黒糖わらびもちが美味しいです。

これからの食欲の秋、忘年会のシーズンには路地裏の隠れ家的な粋なお店、「高瀬川くりお」お薦めです。



### 高瀬川くりお

京都市下区四条河原町下ル船頭町273-1  
TEL 075-344-2299  
営業時間 17:00~23:30  
年中無休  
HP <http://www.quilio.com>

## とっておきのお店 —— 組合員先生方のお薦めのお店 ——

## ぎおん佐藤



左京支所 **清水幸一**

ご主人、佐藤龍幸氏との出会いは、京都ホテルの新築開業（平成6年）の頃でした。当時、京都ホテル（現京都ホテルオークラ）の寿司カウンター（6階入舟内）において、酒に酔った勢いで、友達になり、現在に至っています。

寿司は、東京銀座久兵衛にひけをとれません。特にあなごのにぎり・明石

の鯛・淡路の蛸等は、関西では比類のない店だと思います。又、カウンターでのご主人との対話は、時間がたつことを忘れるくらい楽しくすごせると思います。



風情ゆたかなたたずまいの祇園切通しに割烹料理「ぎおん佐藤」はございます。

洗練された味と美しさの饗宴。  
まごころのおもてなしを  
心ゆくまでご堪能くださいませ。

心ゆるりとお過ごしいただけるよう皆様のお越しを心からお待ち申し上げております。  
どうぞお気軽にお立ち寄りくださいませ。



### ぎおん佐藤

京都市東山区四条通切通し上ル東側イズミナイトビル1階  
TEL/FAX 075-531-8811  
営業時間 17:00~24:00  
定休日 月曜  
HP <http://www.gion-satou.com/>



# 同好会だより

※ボウリング・テニスは、次号に掲載いたします。

## 京税協トレッキングクラブ

『急斜面にへばりつき、身体が浮かないように一歩一歩を足の裏全体で支えながら身体を持ち上げていく。枯葉や枯れ枝が降り積もった斜面は、捉えどころもなく流れるように足もとから掬い抜けていく。傾斜角40度近くもあるだろうか、這いつくばったその斜面は目前30センチに迫り、湿ったそして腐った木肌の匂いが鼻腔を刺激する。進行方向上前方を見上げる。もう少しだ。』

もう少しで路があるだろう尾根に辿り着く。歯を必死に食い縛りまた一歩膝を持ち上げる…』



先日のトレッキング例会で、道標の通り山に分け入ったのですが、途中で登山道が廃道になってしまったので、そのまま道なき山肌を尾根筋まで強行突破したときの描写です。



初回平成16年1月18日から5年半が経過し例会も前回(21.9.20)で第38回を数えています。例会案内にはそのコースの難易度を1～5で

表示していますが、やはり難度が高いと思われるときはそういう人が、又易しい時にはそういう人が参加され、それぞれ上手く使い分けておられるようです。

京税協から頂いた補助金は事務通信費のほか、例会ごとの傷害保険料や携帯医薬品、入山料・入場料に使わせていただき、大変ありがたく感謝しています。ぜひ一度あなたもアウトドアを体験してください。



連絡先

左京支所  
二股 茂

TEL : 075-702-7002

## 京税謡曲同好会



「旅は私にとって精神の若返りの泉である」これはアンデルセンの言葉である。私のおやじ

は若かりし頃喜多流の能に凝っていて一時は家業の糸屋を継がずにお能の道に進むと言って祖父を困らせたと言き及んでいます。

そんなことで、私もおやじに勧められていやいや乍ら謡曲を習う羽目になったのですが、そんな私も年を重ねるにつれてなんとなく謡曲の魅力が分かるようになって来たのかなあと思う今日この頃です。年に二回の同好会でたかだか素謡ですが、今では謡曲は私の生活の中に溶け込んで生き甲斐の一つにさえなっており、腹の底から大きな声を出して謡いをすることが若返りの秘訣にさえなっています。会員の皆様はお年を召しておられる方が多いのですが、それぞれの方がそれぞれに心から謡曲を愛し、お謡いにのめり込んで楽しんでいるのがひしひしと感じられる会です。大きな声を出して清々しい気分になったところで杯をかたむけ、美味しい会食に舌鼓を打ち乍らお能談義に花を咲かせるのも楽しみの一つになっています。ただ、今同好会が直面している難題はなんといっても会員の多くが年を取り、同好の士が少なくなっていることです。

お若い方がどしどし入会されることを切望しています。

(村瀬嘉男)

連絡先

右京支所  
岩崎 寿天男

TEL : 075-331-3481

## 囲碁同好会

京都税理士囲碁同好会は平成元年9月初代会長南部成孝先生の元にて、旅行会、月例会、年次大会を開催してまいりました。しかしその間会員数の激減により、現在同好会の維持管理が不可能に成りました。今後は、囲碁同好者により自由に碁会を持つ体制での活動を考えております。ご希望があれば下記宛てに御一報ください。

連絡先

上京支所  
奥村 伊之春

TEL : 075-441-3973

下京支所  
近藤 一郎

TEL : 075-352-3571





# 京の文学散歩 「燃えよ剣」

著

者

司馬遼太郎

広報委員 伊藤 政宏

この物語は江戸時代の幕末と言われる時代を舞台にしたもので、主人公である新撰組の土方歳三の視点で書かれている。

この時代は朝廷から「逆賊」と言われることを恐れた世の中で、一人自分の信念を通した人物の生涯として、土方歳三に焦点を当て、新撰組の活躍を生き活きと反映させている。

物語は上巻と下巻で構成されている。

上巻では土方歳三の山梨の道場での修業時代から始まり、京都へ出てからの新撰組の誕生、そしてその活躍ぶりが迫真に迫る描写で書かれており、つい時間を忘れる程に感情移入してしまう内容で終わる。

下巻では明治維新へ繋がる「鳥羽伏見の戦い」を中心に、京都から北海道へ転戦する新撰組が描かれており、その中で、土方歳三の京都の新撰組時代の非情さとは違う人間味、そして新しいものを受け入れる柔軟性が見られるところが面白いところである。

そして、土方歳三の最期で終わる。

私は再読して改めて新撰組は京都での活躍の時代が一番輝いていたと思う。

そこで、新撰組の京都での活躍の場を辿った。

まず新撰組は組織の前身である浪士組の結成から始まり、本部を壬生新徳寺に置き、清河八郎が中心であった。

しかし、清河八郎自身が倒幕派であったため暗殺されてしまい、その後に芹沢鴨を中心にした新撰組が誕生する。

本部は壬生郷八木源の丞屋敷を駐屯地にした。



新撰組屯所旧跡（八木家）

その後、芹沢鴨が暗殺されて、皆さんのご存知である近藤勇と土方歳三の主導で再結成された新撰組が誕生する。

本部は壬生のままであったが、鳥羽伏見の戦い前後に、本部は当時の伏見奉行所に移り、以降は京都での活躍を終え、関東方面へ舞台は移る。



壬生寺

京都での新撰組の活躍としては「池田屋事件」が有名であるが、この事件についての著者の解釈で理解したことがある。

それはこの事件により当時の実力者である志士たちが亡くなったことで、明治維新が少なくとも1年は遅れたと理解する方が多い。

しかし、著者の解釈はこの事件により逆に明治維新が早くきたということである。

理由はこれ以降、時代は長州藩（今の山口県）の京都への乱入、幕府軍による二度の長州藩の征伐、そして薩長同盟軍と幕府の天下をかけた戦いである「鳥羽伏見の戦い」へと一気に時代が移行したことからである。

さて、新撰組といえば局中法度書が有名である。

内容は五ヶ条からなり、罰則は切腹である。

- 一、土道に背くまじきこと
- 二、局を脱することを許さず
- 三、勝手に金策すべからず
- 四、勝手に訴訟取扱うべからず
- 五、私の鬭争を許さず

当時、鬼副長と言われて倒幕派に恐れられた土方歳三の信念と覚悟が反映されており、本来の武士以上の武士道を持った人物と感ずる。

元々土方は薬屋の出身であり、武士の身分ではなかったが、武士への憧れから近藤勇の道場に通い、そして京都で浪士として新撰組で活躍した功績で最終的に旗本まで上りつめたことは、身分制度のある時代では稀であり、戦国時代の豊臣秀吉に近い。



池田屋騒動ノ址碑



また、土方歳三は裏方・番頭役的な副長として、組長である近藤勇と離れるまで、例え他の隊の者が離れても支え続けていた姿勢は今の時代にも参考にすべきところがあると思う。

私は土方につき、これまで幕末の新撰組の鬼副長として見る程度で終わっ

ていたが、この本により人間味のある土方に出会えたことがよかったと思う。

また最期の決戦に出陣するシーンで、すでに亡くなった近藤勇や沖田総司が姿を現し、土方歳三が話すところは、感動的であった。



新撰組屯所旧跡（旧前川邸）

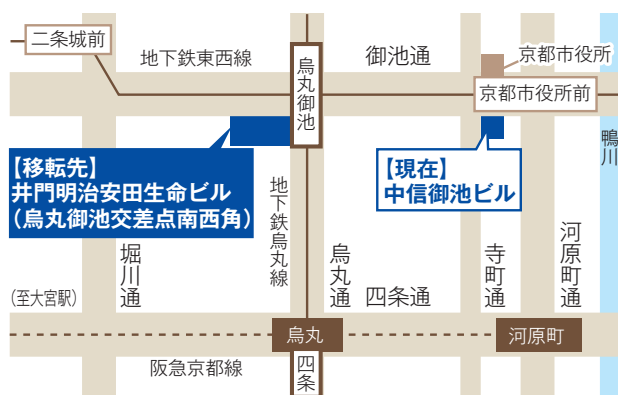
## 京都市からのお知らせ

### ■京都市の法人市民税、市・府民税（特別徴収）及び事業所税の取扱窓口が移転します

京都市行財政局税務部が、現在の中信御池ビル（中京区寺町御池）から下記住所に移転します。移転に伴い、11月24日（火）から、法人市民税、市・府民税（特別徴収）及び事業所税に関するお問い合わせや書類の提出場所が変わりますのでよろしくお願いたします。  
※税制課、資産税課及び収納対策課についても移転します。  
※電話番号については変更ありません。

#### 【移転先】

〒604-8171中京区烏丸通御池下る虎屋町566番地の1  
井門明治安田生命ビル



5階	法人税務課	法人市民税担当	TEL 213-5247
		特別徴収担当	TEL 213-5246
		事業所税担当	TEL 213-5248
	資産税課		TEL 213-5210
	収納対策課		TEL 213-5215
6階	税制課		TEL 213-5200

#### 【最寄の交通機関】

地下鉄及び市バス 「烏丸御池」下車

※来庁される際は、公共交通機関等をご利用ください。  
(駐輪場なし、ビル駐車場を利用される場合は有料)

### ■平成22年度償却資産の申告について

◆提出期限 平成22年2月1日(月)

◆提出先

電子申告（エルタックス）以外は、資産所在の区役所（支所）の固定資産税課（課税課）

#### ◆対象資産

土地・家屋以外の事業用資産で減価償却の対象となるもの。ただし、自動車税及び軽自動車税の課税客体となるものについては除外されます。

#### ◆家屋の所有者以外の者が取り付けた家屋の附帯設備について

テナント（家屋の所有者以外の方）が、事業の用に供するため、平成16年4月1日以後に取り付けた家屋の内装や建築設備などの附帯設備については、テナントから償却資産として申告いただく必要があります。

#### ◆中小企業等の損金算入の特例について

租税特別措置法の規定により取得価額10万円以上30万円未満の少額資産を一時に損金算入された場合も、償却資産の課税客体となりますので、申告が必要です。

#### ◆電子申告について

インターネットによる電子申告も受け付けております。是非ご利用ください。

ご質問の内容	お問い合わせ先
技術的なご質問 (利用届出や申告方法の手続等)	サポートデスク → (電話) 0570-081459 地方税ポータルシステムのホームページ → <a href="http://www.eltax.jp/">http://www.eltax.jp/</a>
申告内容に関するご質問	京都市行財政局税務部資産税課償却資産担当 → (電話) 075-213-5214

おかげさまで70周年 **70th**

一緒にうれしい

# On Your Side

みなさまのすぐとなり  
京都中央信用金庫がいます。

**京都中央信用金庫**

本店/京都市下京区四条通烏丸西入ル  
☎ 075 (223) 2525  
FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)  
[www.chushin.co.jp](http://www.chushin.co.jp) (当金庫営業エリアのみ)





# 組合の動き

9・17	研修・実務講座「消費税の仕組みと実務第3回(全5回)」 講師 清水俊行先生 申込 45名
9・24	研修・実務講座「消費税の仕組みと実務第4回(全5回)」 講師 清水俊行先生 申込 45名
9・30	定款変更認可日
10・1	研修・実務講座「消費税の仕組みと実務第5回(全5回)」 講師 清水俊行先生 申込 45名
10・2	正副理事長会開催
10・2	大同生命 代理店協議会開催
10・5	個別業務推進会議(日本生命)
10・7	短期講座「遺産分割をめぐる相続法と相続税法の実務」 講師 小池正明先生 参加 190名
10・9	総務(情報化)委員会開催(今期の取組みについて)
10・13	研修委員会開催(今期の運営について)
10・13	定款変更登記完了
10・14	両丹5支部対抗ゴルフコンペ 於 グランパール京都ゴルフ倶楽部 参加 40名
10・14	短期講座「消費税実務の留意点～最近の裁判事例・採決事例から～」 講師 金井恵美子先生 参加 167名
10・15	監事・正副理事長会との懇談会 (監査範囲・監事会について意見交換)
10・19	事業委員会及び事業推進協議会開催 (事業推進協議会開催要領について) 参加 34社51名
10・20	地区連絡小委員会開催 (全税共ゴルフコンペ・来春開催行事について)
10・21	研修・短期講座「法人税調査における科目別重点項目」 講師 岸田光正先生 参加 155名

10・22	正副理事長会・常務理事会・理事会開催
10・22	大同生命 スタートアップセミナー開催
10・26	個別業務推進会議(明治安田生命)
10・27	支部役員との懇談会・支所会計担当者会議開催
10・28	研修・勉強会「不動産研究会第3回」(全4回) 講師 西脇則之先生他 参加 36名
11・2	事業・提携基準検討協議会開催
11・5	広報委員会開催(第127号編集会議)
11・5	業務推進会議(日本生命)
11・6 ～7	第14回大同生命保険推進協議会開催(当番:東海) 於 館山寺レイクホテル花乃井〔浜松〕
11・9	両丹協議会・懇談会開催(各部門報告等) 於 ホテル北野屋〔宮津〕 参加 69名
11・11	研修・短期講座「住宅取得税制と証券税制の改正論点」 講師 松田昭久先生 参加 82名
11・12	広報委員会開催(第127号ゲラ校正)
11・13	保険第二委員会開催(第24回全税共全国統一キャンペーン 「優績営業職員表彰式・祝賀パーティー」開催要領について)
11・17	広報委員会開催(第127号ゲラ再校正)
11・19	第44回全税共VIP君・ランちゃんゴルフコンペ開催 於 琵琶湖カントリー倶楽部 参加 101名※
11・20	正副理事長会開催
11・20	法規委員会開催(監事会運営要領の策定について)
11・20	研修・短期講座「資産税をめぐる諸問題」 講師 神谷光春先生 参加 88名※

※11月17日現在の申込み人数です

観劇に決定

## 劇団四季ミュージカル 「美女と野獣」

開催場所 京都劇場  
開催日 平成22年4月3日(土)

申込方法など詳細は改めてご連絡いたします!

京税協・京都府支部連合会 共催  
大同生命保険株式会社 協賛

## 大同ゴルフコンペ

平成22年 4月開催予定

詳細は次号にて掲載いたします。  
奮ってご参加下さい!

## 税理士会館竣工 6周年記念講演(仮称)

開催日:平成22年4月15日(木)  
ご予約の程よろしくお願ひ申し上げます。

## 編集長から

シリーズ「路線バスの終点へ」が「路線バスのたび」へリニューアル!  
終点にはこだわらず、沿線のチョット気になるスポットをご紹介します。  
組合員の方々に「次はどこやる?」と楽しみにしていただけよう、何度も取材を重ねて原稿を仕上げています。メンバーの苦勞の跡を行間から読み取っていただけると、とてもうれしいのですが...



## ▶ 広報委員 名古屋千尋

乗車券  
09.11.25京都駅から  
↓  
岩倉操車場ゆき発売当日限り有効  
途中下車前途無効

広報委員会も新メンバーになり、「シリーズ路線バスの終点へ」も少し趣を変えて、終点に限らず路線沿線のスポットを紹介することになりました。

まず初回は、委員長おすすめの市バス5番に乗って、京都散策に出掛けました。市バス5番は、京都駅から岩倉操車場まで行きます。途中で観光スポットがたくさんあり、乗っているだけで京都観光の気分が味わえます。紹介したいスポットが目白押しで何を書こうか迷ったのですが、この秋「不動明王二童子像(青不動)」が初めて開帳(～12月20日まで) されている青蓮院に行ってみることにしました。



「神宮道」のバス停を降り、南へ下ると左手に大きなクスノキが見えてきます。門跡寺院として格式のある青



蓮院です。入場券にはお守りと祈願紙が付いていました。文化財として青不動を鑑賞するのではなく、拝観した人全員に思い

を込めて祈ってほしいという東伏見慈晃青蓮院門主のお考えだとか。

願い事を書いた紙を持っていよいよ青不動の前に。昨年来たときに複製は見たので絵としては知っていました。でも、何かが違う。時の重さとも違うのでしょうか。遠い平安の昔から青不動に捧げられてきた様々な祈りを想うとき、ありがたさに身体が熱くなり

ました。私のささやかな願いもどうぞお不動様に届きますように。

青不動にお別れして次は哲学の道へ。「銀閣寺道」下車です。観光客の多そうな銀閣寺はスルーして法然院へ。「不許葷辛酒肉入山門」と書かれた石碑の向こうには山門で額縁のように囲まれた緑の空間がありました。残念ながらお堂の中に入ることはできませんでしたが、静かなお庭を歩いているだけで心が落ち着きます。



しばし高尚な気分に入ったのもつかの間。ちょっと小腹がすいて来たので、カフェで休憩。哲学の道沿いにはかわいい雑貨屋さんやカフェもいろいろ。



途中で猫グッズのお店を見つけました。猫の絵葉書やらストラップなど、猫好きの人にプレゼントしたくなるようなものばかり。ほんものの猫ちゃんもレジカウンターにお昼寝中でした。



おなかも満足、おみやげも買ったところで、また5番に乗り曼殊院へ。曼殊院へは「一乗寺清水町」で下車。バス停から東に向かって坂道を結構歩きます。20分ほど歩いたでしょうか。息が切れてきた頃、ようやく到着しました。

ここは桂離宮を作られた智仁親王の次男、良尚法親王が造営され「小さな桂離宮」とも呼ばれているそうです。狩野探幽筆の襖絵などは時代をへて古



くなっているものの、冗くずしや大胆な菊をあしらった欄間に、江戸初期とは思えない斬新さを感じます。できた当初はさぞかしモダンでおしゃれな建物だったのでしよう。筋骨隆々とした国宝の「黄不動尊」を拝み、曼殊院を後にしました。



そして最後は5番の終点、岩倉操車場に降り立ちました。ここは高校生の頃毎日

通った思い出の場所でもあります。母校を訪ねてみれば、懐かしの校舎は影も形もなく、真新しいレンガ造りの校舎が木々に映えて、まるで外国のキャンパスのようです。チャペルがあった辺りには、来年の中学移転に向けて工事が進められていました。完成すれば岩倉の地が小中高一貫教育の場となります。通っていた頃の殺風景なコンクリート造りの校舎を思い出し、ちょっぴりセンチになった私の頬を、あの頃と同じ金木犀の風が撫でていきました。

